

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場会社名 川崎汽船株式会社 上場取引所 東・名・福
 コード番号 9107 URL http://www.kline.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 朝倉 次郎
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報グループ長 (氏名) 床並 喜代志 TEL 03-3595-5189
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	606,550	11.0	19,763	62.7	20,023	120.6	14,736	—
25年3月期第2四半期	546,213	9.9	12,148	—	9,075	—	△1,124	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 45,914百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 238百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	15.71	15.64
25年3月期第2四半期	△1.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,249,996	405,094	30.7
25年3月期	1,180,433	361,975	28.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 383,204百万円 25年3月期 340,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,180,000	4.0	28,000	88.1	27,000	△5.6	16,000	50.0	17.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	939,382,298株	25年3月期	939,382,298株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,629,129株	25年3月期	1,628,245株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	937,754,752株	25年3月期2Q	838,354,953株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

1. 平成25年7月31日に公表しました通期の連結業績予想を本資料において修正しています。詳細につきましては、本日発表の「平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提については、[添付資料] 6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

平成25年10月31日開催の決算説明会資料を、弊社ホームページ上に掲載しています。

（弊社（川崎汽船）ホームページ）

<http://www.kline.co.jp>

（投資家情報）

<http://www.kline.co.jp/ir/index.html>

（決算説明会資料）

<http://www.kline.co.jp/ir/library/pr/index.html>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報等)	14
3. 補足情報	15
最近における四半期毎の業績の推移(連結)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(億円未満四捨五入)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	増減額 (増減率)	
売上高 (億円)	5,462	6,066	603	(11.0%)
営業損益 (億円)	121	198	76	(62.7%)
経常損益 (億円)	91	200	109	(120.6%)
四半期純損益 (億円)	△11	147	159	(—)

為替レート(¥/US\$) (6ヶ月平均)	¥79.73	¥98.03	¥18.30	(23.0%)
燃料油価格(US\$/MT) (6ヶ月平均)	US\$685	US\$628	△US\$57	(△8.3%)

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)(以下、「当累計期間」と表示する)における世界経済は、米国経済が緩やかな回復傾向を見せました。また債務問題を背景として景気低迷が長期化していた欧州においても、漸く下げ止まりの兆候が見られるようになりました。新興国においては、中国で経済成長減速に歯止めがかかりつつありますが、インドなどでは引き続き低い経済成長率となりました。

国内経済は、輸出が増加し、民間消費が伸びるなど、景気回復傾向にあります。

コンテナ船市況は、低迷する欧州経済の影響を受け、特に欧州航路で運賃市況が低水準で推移しました。自動車船事業では、完成車の日本出し輸送は伸び悩みを見せました。一方、ドライバルク市況は中国向け鉄鉱石の輸送量増加などを要因として8月以降に大幅に回復しました。燃料価格高騰の沈静化による収支改善効果や数年来継続した円高傾向の是正による増収効果などがあつたものの、海運業を取りまく事業環境は依然として不安定な状態が継続しました。

以上の結果、当累計期間の売上高は6,065億50百万円(前年同期比603億36百万円の増加)、営業利益は197億63百万円(前年同期比76億14百万円の増加)、経常利益は200億23百万円(前年同期比109億47百万円の増加)、四半期純利益は147億36百万円(前年同期は11億24百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントごとの業績概況は次のとおりです。

(億円未満四捨五入)

		前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	増減額 (増減率)	
コンテナ船	売上高 (億円)	2,711	2,943	232	(8.6%)
	セグメント損益 (億円)	38	15	△22	(△59.3%)
不定期専用船	売上高 (億円)	2,441	2,776	336	(13.7%)
	セグメント損益 (億円)	79	219	140	(176.4%)
海洋資源開発 及び重量物船	売上高 (億円)	109	166	57	(51.9%)
	セグメント損益 (億円)	△26	△19	7	(—)
その他	売上高 (億円)	201	180	△21	(△10.5%)
	セグメント損益 (億円)	26	20	△7	(△25.2%)
調整額	セグメント損益 (億円)	△26	△35	△9	(—)
合計	売上高 (億円)	5,462	6,066	603	(11.0%)
	セグメント損益 (億円)	91	200	109	(120.6%)

①コンテナ船セグメント

[コンテナ船事業]

当累計期間の積高は、北米航路では往復航全体で前年同期並みとなりました。一方、欧州航路では、景気低迷に伴う荷量減に対応して当社スペースを削減したことから、積高は前年同期比約9%の減少となりました。アジア・南北航路においては、不採算航路の合理化をさらに進めた結果、前年同期比で20%弱の減少となり、これらにより当社グループ全体の積高は前年同期比約10%の減少となりました。新造大型船の竣工が続く一方、荷動きは力強さを欠いたため、夏場の運賃修復は小幅に留まり、運賃レベルは前年同期比で悪化しました。

当社グループでは大型新造省エネ船投入に伴う運航効率化や、減速運航をはじめとするコスト削減対策に取り組みましたが、業績は前年同期比で悪化となりました。

[物流事業]

当累計期間においては、国内物流とアジアを中心とする国際物流は堅調に推移しましたが、日本出しの航空輸出貨物の取扱高の落ち込みが大きく、物流事業全体では業績は前年同期比で悪化となりました。

以上の結果、コンテナ船セグメントでは、前年同期比で増収減益となりました。

②不定期専用船セグメント

[ドライバルク事業]

大型船においては、中国向けの鉄鉱石の荷動きが大幅に伸びたことに加え、季節要因による鉄鉱石出荷状況の改善などにより船腹余剰感がやや緩和されたことから、市況は8月以降大幅に改善しました。中小型船においても、大型船市況上昇の影響に加え、秋口に向けて北米の新穀出荷量増加への期待が重なり、市況は9月に入り改善しました。このような事業環境を背景に、当社グループは期を通じて運航コストの削減を行い、効率的配船に努めた結果、前年同期比で増収増益となりました。

[自動車船事業]

当累計期間の完成車荷動きは、欧州、北米発の極東向け貨物や大西洋水域内貨物などは堅調に推移したものの、日本発の貨物は北米向けや中近東向けなど一部を除いて伸び悩み、当社グループの総輸送台数は前年同期比で約4%減少しました。こうした事業環境のもと、当社グループでは輸送契約の見直しや航路改編など運航効率の改善に継続的に取り組みました。これにより、中近東航路や中南米航路などで順調に利益を確保し、また大西洋航路の収益性も改善したことなどから、当累計期間の業績は前年同期比で増収増益となりました。

[エネルギー資源輸送事業(液化天然ガス輸送船事業・油槽船事業)]

液化天然ガス輸送船、大型原油船、LPG船は、中長期の期間傭船契約のもとで順調に稼働しました。中型原油船、石油製品船は、前期までに返船・処分による船隊規模縮小を行い、低迷が続く市況の影響を限定的なものとしています。これらの結果、エネルギー資源輸送事業全体では前年同期比増収増益となりました。

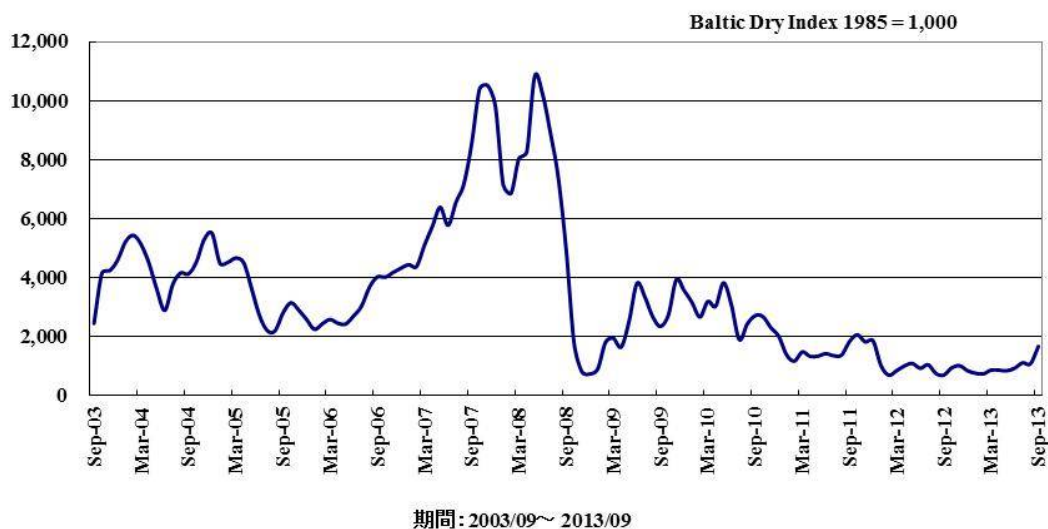
[近海・内航事業]

近海船においては、バルク輸送では、国内セメントメーカーの堅調な生産活動を背景に、石炭、石膏、セメントなどで安定した輸送量を確保しました。木材輸送では、復興需要などで輸入合板の輸送量が前年同期を上回りましたが、チップ輸送は市況低迷が続きました。鋼材・雑貨輸送では、航路改編により海峡地向けの輸送量が減少し、インドネシア向け輸送量が前年同期比増加しました。また、タイ向けは前期並みの輸送量となりました。

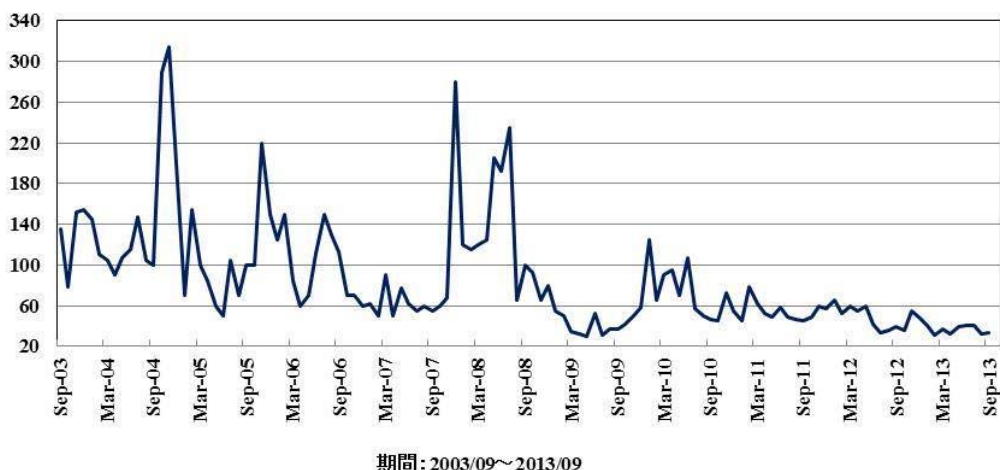
内航船においては、不定期船輸送では、石灰石及び石炭の各専用船は安定的に稼働し、小型貨物船も荷動きが増加したことから稼働率が上がりました。定期船輸送では、安定した天候に加え積極的な営業活動により、輸送量は前年同期比増加しました。フェリー輸送では、新造船の投入効果もあり旅客・乗用車の輸送量は前年同期比大幅に増加しました。

以上の結果、不定期専用船セグメント全体では、前年同期比で増収増益となりました。

ドライバルク市況 (Baltic Dry Index)



タンカー市況 (VLCC ワールドスケール 中東/日本)



③海洋資源開発及び重量物船セグメント

[海洋資源開発事業 (エネルギー関連開発事業・オフショア支援船事業)]

オフショア支援船事業においては、旺盛な海底油ガス田の掘削活動に伴い、船腹需給は堅調に推移し、全船が順調に稼働しました。ドリルシップ (海洋掘削船) も順調に稼働し、収益確保に貢献しました。海洋資源開発事業全体では、海外子会社における為替評価損の影響を受け、業績は前年同期比で悪化しました。

[重量物船事業]

重量物船事業においては、運賃市況は依然低い水準にあるものの、前年同期比では若干の回復がありました。また、本事業参入時に資産計上したのれん代の償却負担がなくなったことも影響し、前年同期比では増収となり損失が縮小しました。

以上の結果、海洋資源開発及び重量物船セグメント全体では、前年同期比で増収となり損失が縮小しました。

④その他

その他には、船舶管理業、旅行代理店業、不動産賃貸・管理業等が含まれており、当累計期間の業績は前年同期比減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の資産の部は、現金及び預金、有価証券の増加等により前連結会計年度に比べ695億62百万円増加し1兆2,499億96百万円となりました。

負債の部は、長期借入金の増加等により前連結会計年度に比べ264億43百万円増加し8,449億1百万円となりました。

純資産の部は、繰延ヘッジ損益及びその他有価証券評価差額金のプラス等により前連結会計年度に比べ431億19百万円増加し4,050億94百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(億円未満四捨五入)

	前回予想 (平成25年7月31日連結業績 予想)	今回予想 (平成26年3月期第2四半期 決算発表時点)	増減額	(増減率)
売上高 (億円)	11,800	11,800	—	(—)
営業損益 (億円)	280	280	—	(—)
経常損益 (億円)	270	270	—	(—)
当期純損益 (億円)	145	160	15	(10.3%)

為替レート (¥/US\$)	¥96.81	¥99.02	¥2.21	(2.3%)
燃料油価格 (US\$/MT)	US\$624	US\$614	△US\$10	(△1.6%)

コンテナ船事業では、米国経済が緩やかな回復傾向を見せる一方で、欧州経済は依然不透明感が強いことなどを鑑み、当社グループは『選択と集中』を柱とする慎重な事業運営を継続します。需要に即した減便による運航コストの削減、減速運航の徹底、及び世界各地でのコスト削減活動を強化すると共に、運賃修復にも引き続き取り組みます。また、情報技術を活用した航路管理の強化を進め、収益性改善に努めます。

物流事業では、日本出しの航空輸出貨物は下期に向け回復傾向が見受けられます。また、陸送などの国内物流やアジアを中心とする国際物流は堅調に推移するものと見込みます。

ドライバルク事業では、大型船・中小型船共に市況は回復傾向にあるものの、船腹供給の過剰感は完全には払拭されていません。しかし、中国経済の減速懸念が一時後退し荷動きも回復していることから、市況は当面の間好調を維持するものと予想されます。当社グループは引き続き効率的配船や、運航コスト削減等、あらゆる収支改善策に取り組みます。

自動車船事業では、欧州市場の低迷の長期化や、中国・インド・ロシアなど新興国市場の成長鈍化が懸念材料となっていますが、北米や中近東市場などが好調に推移しており、完成車の海上輸送需要としては、全般的に堅調に推移するものと予想します。円高の是正に伴い日本からの完成車輸出も増加することが期待されていますが、日本メーカーの海外への生産移転が進んでおり、数年来の円高基調によって落ち込んだ日本からの出荷台数の回復は、短期的には難しいものと見込みます。

エネルギー資源輸送事業のうち、液化天然ガス輸送船事業では、中長期の傭船契約を背景に安定稼働を見込みます。油槽船事業では、市況の本格的な回復に今しばらく時間を要する見込みです。大型原油船、LPG船は中長期の傭船契約のもとで安定収益の確保に取り組む一方、中型原油船、石油製品船については、効率的配船により収支改善を図ります。

近海事業では、引き続き適正船腹量の調整と運航コストの削減を図り、競争力を高め、きめ細かい事業運営に努めます。

内航事業のうち、不定期船輸送では、新規顧客・貨物の開拓を進めます。定期船輸送では、北海道・関東・九州の輸送需要に的確に応えるべく代替船の建造など船隊整備を検討し、更に積極的な営業展開を図ります。フェリー輸送では、東北・北海道地域に密着した生活航路という使命を果たすべく、安定した運航に努めます。

海洋資源開発事業では、オフショア支援船及びドリルシップの安定稼働による収益への貢献を見込みます。

重量物船事業では、比較的競合の多い中小型船マーケットにおいては市況の回復には時間を要する見込みです。船位自動保持システムを搭載した大型船の高性能を生かして収益性の高いオフショア案件やプロジェクト貨物の増量を進め、収支改善を図ります。

当社は経営計画の主要課題である持続的成長のための設備投資等への充当や、企業体質の充実・強化のために必要な内部留保の確保等を勘案しつつ、株主の皆様への利益還元を最大化することを重要課題と位置づけています。連結純利益に対する配当性向につきましては2010年代半ばでの目標である30%を念頭に置き、徐々に高めていく方針です。中間配当につきましては、本日開催の取締役会において前回公表のとおり無配とすることを決議いたしました。

期末配当につきましては、本日公表の通期業績予想において当期純利益を上方修正しておりますが、下期の事業環境には引き続き不透明感が残るため、現時点では前回公表のとおり1株あたり3.5円にて据え置きとさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	162,126	181,112
受取手形及び営業未収金	86,883	98,129
短期貸付金	1,961	3,019
有価証券	0	49,994
原材料及び貯蔵品	42,690	44,888
繰延及び前払費用	41,090	41,416
その他流動資産	20,455	20,110
貸倒引当金	△962	△1,060
流動資産合計	354,246	437,611
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	560,474	553,942
建物及び構築物（純額）	23,675	21,850
機械装置及び運搬具（純額）	7,202	7,367
土地	28,202	25,645
建設仮勘定	39,291	47,542
その他有形固定資産（純額）	4,204	3,825
有形固定資産合計	663,051	660,172
無形固定資産		
のれん	674	590
その他無形固定資産	5,223	5,138
無形固定資産合計	5,898	5,729
投資その他の資産		
投資有価証券	87,118	96,414
長期貸付金	16,711	16,617
その他長期資産	53,740	33,791
貸倒引当金	△332	△340
投資その他の資産合計	157,238	146,483
固定資産合計	826,187	812,385
資産合計	1,180,433	1,249,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	82,606	91,083
短期借入金	96,578	84,143
未払法人税等	1,990	3,259
引当金	2,386	2,747
その他流動負債	78,010	100,443
流動負債合計	261,573	281,677
固定負債		
社債	48,699	53,510
長期借入金	428,869	441,786
特別修繕引当金	16,483	15,374
その他の引当金	8,878	8,696
その他固定負債	53,954	43,856
固定負債合計	556,884	563,223
負債合計	818,458	844,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	75,457	75,457
資本剰余金	60,315	60,312
利益剰余金	223,287	232,444
自己株式	△904	△901
株主資本合計	358,155	367,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,475	12,277
繰延ヘッジ損益	△8,104	6,248
土地再評価差額金	2,350	6,054
為替換算調整勘定	△14,306	△8,687
その他の包括利益累計額合計	△17,584	15,891
少数株主持分	21,404	21,890
純資産合計	361,975	405,094
負債純資産合計	1,180,433	1,249,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	546,213	606,550
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	502,318	551,739
売上総利益	43,895	54,811
販売費及び一般管理費	31,746	35,048
営業利益	12,148	19,763
営業外収益		
受取利息	543	532
受取配当金	1,638	1,276
持分法による投資利益	1,194	1,483
為替差益	—	2,028
その他営業外収益	1,153	1,389
営業外収益合計	4,529	6,710
営業外費用		
支払利息	4,890	5,445
為替差損	1,000	—
その他営業外費用	1,712	1,005
営業外費用合計	7,602	6,450
経常利益	9,075	20,023
特別利益		
固定資産売却益	6,096	3,178
投資有価証券売却益	742	1,470
その他特別利益	706	352
特別利益合計	7,545	5,000
特別損失		
減損損失	392	2,174
投資有価証券評価損	17,988	2,600
その他特別損失	1,293	515
特別損失合計	19,674	5,290
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,053	19,733
法人税、住民税及び事業税	3,796	4,036
法人税等調整額	△6,963	△196
法人税等合計	△3,167	3,839
少数株主損益調整前四半期純利益	114	15,893
少数株主利益	1,238	1,157
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,124	14,736

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	114	15,893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,434	9,826
繰延ヘッジ損益	△5,079	14,025
土地再評価差額金	—	272
為替換算調整勘定	861	4,871
持分法適用会社に対する持分相当額	△92	1,026
その他の包括利益合計	123	30,021
四半期包括利益	238	45,914
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,141	44,647
少数株主に係る四半期包括利益	1,379	1,266

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,053	19,733
減価償却費	23,890	26,111
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△124	47
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△341	△226
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	△1,570	△1,146
受取利息及び受取配当金	△2,181	△1,809
支払利息	4,890	5,445
為替差損益(△は益)	△1,893	△2,158
有形固定資産売却損益(△は益)	△6,064	△3,176
投資有価証券売却損益(△は益)	△706	△1,470
減損損失	392	2,174
投資有価証券評価損益(△は益)	17,988	2,600
売上債権の増減額(△は増加)	△10,079	△9,918
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,415	△1,923
その他の流動資産の増減額(△は増加)	5,234	2,881
仕入債務の増減額(△は減少)	5,724	6,985
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,790	3,595
デリバティブ債権債務の増減額	—	23,612
その他	257	△3,657
小計	27,157	67,701
利息及び配当金の受取額	2,291	2,352
利息の支払額	△4,884	△5,467
法人税等の支払額	△3,120	△2,843
その他	△1,893	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,551	61,743
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△11,192	△783
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	5,118	5,322
有形固定資産の取得による支出	△57,436	△40,872
有形固定資産の売却による収入	48,401	27,246
無形固定資産の取得による支出	△288	△530
長期貸付けによる支出	△203	△186
長期貸付金の回収による収入	5,652	583
その他	△8,590	△6,949
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,538	△16,170

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△107	△1,542
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△17,000	—
長期借入れによる収入	66,856	67,539
長期借入金返済等に係る支出	△35,271	△72,844
社債の発行による収入	—	49,939
社債の償還による支出	△189	△25,685
株式の発行による収入	20,852	—
配当金の支払額	△1	△2,331
少数株主への配当金の支払額	△298	△867
少数株主からの払込みによる収入	32	—
その他	0	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,873	14,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,398	4,024
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	37,284	63,808
現金及び現金同等物の期首残高	92,756	159,075
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	22	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	130,063	222,883

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	コンテナ船	不定期専用船	海洋資源開発 及び重量物船	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	271,056	244,060	10,949	20,147	546,213	—	546,213
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,622	1,398	—	18,472	23,493	△23,493	—
計	274,679	245,458	10,949	38,620	569,707	△23,493	546,213
セグメント利益又は損失(△)	3,766	7,940	△2,646	2,645	11,706	△2,630	9,075

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船舶管理、旅行代理店及び不動産賃貸・管理業等の事業が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,630百万円には、セグメント間取引消去△105百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△2,525百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	コンテナ船	不定期専用船	海洋資源開発 及び重量物船	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	294,276	277,617	16,631	18,025	606,550	—	606,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,964	1,374	—	21,559	26,898	△26,898	—
計	298,241	278,991	16,631	39,584	633,449	△26,898	606,550
セグメント利益又は損失(△)	1,531	21,947	△1,906	1,979	23,552	△3,529	20,023

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船舶管理、旅行代理店及び不動産賃貸・管理業等の事業が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,529百万円には、セグメント間取引消去△77百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△3,451百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

3. 補足情報

最近における四半期毎の業績の推移（連結）

平成26年3月期

	第1四半期 25年4月～25年6月	第2四半期 25年7月～25年9月	第3四半期 25年10月～25年12月	第4四半期 26年1月～26年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	295,724	310,825		
営業損益	7,332	12,430		
経常損益	10,941	9,081		
税金等調整前四半期純損益	8,984	10,748		
四半期純損益	6,976	7,759		
	円	円	円	円
1株当たり四半期純損益	7.44	8.27		
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	1,180,189	1,249,996		
純資産	391,458	405,094		

平成25年3月期

	第1四半期 24年4月～24年6月	第2四半期 24年7月～24年9月	第3四半期 24年10月～24年12月	第4四半期 25年1月～25年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	273,598	272,615	256,228	332,328
営業損益	4,071	8,077	△1,521	4,259
経常損益	7,182	1,892	1,515	17,998
税金等調整前四半期純損益	△4,750	1,697	16,263	19,656
四半期純損益	△674	△449	10,528	1,265
	円	円	円	円
1株当たり四半期純損益	△0.88	△0.50	11.23	1.35
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	1,090,164	1,106,825	1,116,984	1,180,433
純資産	269,945	280,655	308,705	361,975